

まつもと じゅん  
**松本純**

中区・磯子区・金沢区  
**まちかど  
政治瓦版**



松本純ホームページ 毎日更新中! [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶検索キーワード「松本純」

## 「私たちは自分の手で直接子どもを育てたい」 少子化対策に今、真に求められているものは?

「親が働いている、いないにかかわらず、自分の手で直接子どもを育てたい」「子どもと過ごす時間を大切にしたい」。少子化対策について具体的な政策提言を行うことを目指して活動している自民党女性局が最近行ったアンケート調査で、こんな答えが多く寄せられました。その要望に、政治がどれだけ応えられるか。今、少子化対策は早急な見直しに迫られています。



「合計特殊出生率」、1人の女性が一生のうちに産む子どもの平均数のことです。調査を始めた1947年、その数値は4.54でしたが、その後、下降線をたどり、1990年の「1.57ショック」により、本格的な少子化対策がスタートしました。しかし、決定的な打開策のないまま、昨年は1.28にまで下がり、問題は深刻化しています。

自民党女性局は立党50年を迎えるにあたり、「子どもHAPPYプロジェクト」を発足させ、今回の調査は「今、若い世代が安心して子どもを産み育てるために何が必要か」を探るために行いました。10代後半～30代の男女7,711人が答えてくれました。

まず少子化の進行に85%が「危機感を感じている」と答えました。子どもが生まれたときに育児休業をとるか、保育所に預けて仕事を続けるか? を尋ねたところ、育児休業と答えた人が77%、保育所が19%。育児休業と答えた人に理由を聞くと、最も多かったのが「自分の手で育てたい」「子どもと一緒にいたい」という答えだったのです。

これまで子育てというと、「保育所を増やして待機児童をゼロに」など、施設面の充実が緊急の課題とされてきましたが、若い人たちの実際の意識は別の所にあったのです。また注目すべきは、「子育て環境で気になる点」で最も多かったのが「治安に不安を感じる」だったこと。さらにほとんどの人が、児童手当の支給範囲拡大・アップ、幼稚園・保育所の料金の軽減、子どもの多い家庭の税金の軽減—など、経済的支援策の拡充を強く望んでいることでした。

もちろん保育所の整備などハード面の改善は、今後も進めなければなりません。が、それと同時に子どもをもちたいと願う若い人たちの「心」に、政治がどれだけ応えられるか、というソフト面の対策の緊急性を調査結果は示しているように思います。

## 松本議員の国会レポート②

平成17年

【5月31日(火)】

午前8時 ●離島振興委員会、医療問題小委

午前9時 ●郵政民営化特別委員会

正午 ●大臣政務官会議

午後0時30分 ●伊波洋之助・横浜市長来訪

※本会議が予定されていたが開催されず

午後1時 ●郵政民営化特別委員会(再開)

午後6時 ●神奈川県医師会新役員就任披露の会

午後6時 ●磯子区生活衛生協議会総会

午後7時 ●国税東京神奈川地区本部集会

【6月3日(金)】

午前8時 ●総務部会

午前9時 ●郵政民営化特別委員会

午後1時 ●郵政民営化特別委員会

午後5時30分 ●第8回市町村合併支援本部会合

【6月11日(土)】

午前8時45分 ●総務省からヘリで静岡市へ

午前10時 ●緊急消防援助隊全国合同訓練

午後3時22分 ●静岡駅発。新幹線で新横浜へ

午後7時30分 ●中區薬剤師会総会

伊波洋之助さんは、私の横浜市議員時代の先輩議員です。同じ選挙区のライバルでもありましたが、私が平成8年10月、第41回衆議院総選挙に出馬したときから全力で応援していただいております。その先輩が市会議長に就任して挨拶にみえたのです。話はずみましたが、伊波さんの議長就任の心境、「できるときに、できる人が、できることをすればいい」という言葉が伊波さんらしくて印象に残りました

「テレビ画面にずっと映っていたのを、見ましたよ」——。多くの人から言われました。衆議院郵政民営化特別委員会では精力的な審議が続いていますが、この日は終日、NHKのテレビ中継がありました。私の座っている議席がちょうどカメラのフレームに入ったのです。私の「勇姿」を見ていただくいい機会になりましたが、「先生、下向いて、携帯のメールでもやっていたのですか」という人もいて、なかなか難しいものです。

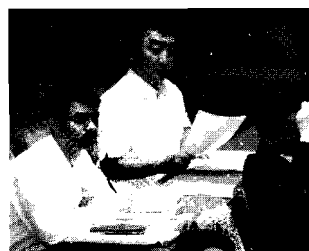
「相模湾トラフを震源とする地震が発生した」という想定のもと、全国から約400の緊急消防援助隊、約2,000人が参加。いざというとき、全国から災害地に駆けつける援助隊に心強い思いがしました。が一方で、各県で緊急車両の仕様が違うのでガソリン補給が大変ということや、一斉に無線を使うと混信が起るといふ問題も浮き彫りになりました。援助隊の力が十分に発揮できるよう、ひとつひとつ解決していきます。



▲5/29金沢消防団第8分団春季分団訓練開会式にて(大道小学校)



▲6/3「クールビズ」は麻生大臣と同じ「フクゾー」のシャツを



▲連日の熱い議論が交わされる郵政民営化特別委員会で



▲石破茂議員が国防について講演を6/20「松本純政経セミナー」横浜

### 永田町日記

### 「週刊文春」のグラビアで冷やかされ?!

大きな話題を呼んだ「クール・ビズ」が衆議院では6月2日、スタートしました。私もノーネクタイ・ノー上着で登庁・登院しています。先日の週刊文春のグラビアで麻生太郎総務大臣らとともに、私のクール・ビズ姿も紹介されました。ちょっと派手なベルトをしていたので、「先生、もしかして、それ、息子さんのベルト…」なんて冷やかされてしまいました。私のシャツは、いつもお世話になっている元町のフクゾー、ポピーの商品です。何着か調達し、麻生大臣にも提供しました。ですから、私は大臣のスタイリスト、ということにもなるわけです。これで少しでも省エネにつながれば何よりですし、私自身、着ているものからヨコハマをアピールできるのは誇らしいことです。(純)

まつもと じゅん プロフィール▶昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ▶本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師▶本町小PTA会長、横浜JC専務理事、野毛大道芸実行委員長など街づくりや地域活動に取り組む▶平成2年～横浜市議(3期)▶平成8年～衆議院総選挙で初当選。専門を生かし医療・福祉・年金などに全力投球。介護保険制度を創設した責任者の一人▶平成12年～総選挙で次点落選▶平成15年～衆議2期目。総務大臣政務官に就任。三位一体改革、行財政改革など新しい日本の国形をつくるため奮闘中!。郵政民営化特委委員就任。